

平成23年度川崎区区民会議第7回高齢者部会

日 時：平成24年2月10日（木）18時30分～20時30分

場 所：川崎区役所7階第1会議室

出席者(敬称略)

(1) 委員 5人

星川孝宜、赤間靖夫、猪熊俊夫、富田順人、吉野智佐雄

1. 開会

(事務局)

<会議の成立、会議開催の事前公表、会議録の開示、傍聴の遵守事項、会議の記録、広報としての写真撮影を説明、出席者の紹介>

議題

(1)第3期川崎区区民会議最終報告書(案)について

(星川部会長)

今日は、高齢者部会第7回ということで、2年間の任期の中で、第三期として最後の部会になります。報告書の(案)について、ご検討いただきたいと思います。お手元の資料は、資料1～4まで。

資料についてご説明をよろしくお願いします。

(金子課長)

※資料1、資料2説明

(星川部会長)

資料3のP1 提言のところが高齢者部会に該当するところ。「1 高齢者が安全安心に外出できる環境整備のために」というところですが、何かお気づきの点がございましたらご指摘いただきたい。提言が一番大事な所ですので、あとで戻っても結構ですが、私が気になったところは、安全安心とありますが、本文の中では、「安全に安心して」となっています。安全安心とは、キーワードで使われますが、そのまま使った方が良いか、かみくだいて、「高齢者が安全に安心して外出できる環境整備のために」とした方がよいか。それとコミュニティバスの囲みの中に上から3行目のコミュニティバスを含めた高齢者が外出しやすいとなっていますが、1行目に障害者、妊婦、乳幼児の親を対象にしてアンケートを実施したとあるので、高齢者等にした方が良いのではないかと。欄外も関係しますね1ページはウォーキングガイドブックについての説明書きがあります。

次に4ページですが、前回の部会でも出させて頂いたところですが、グラフの中に全国の上に川崎市を入れようということでしたが、川崎市を入れてもらったのは良かったのですが、川崎市の老年人口のパーセンテージが17

になっているのですが、小数点第1位まで入れた方が良いかと思います。それと上の囲みで審議課題が「生きがい、社会貢献」「高齢者に対する環境づくり」と二つ並べてありますが、実際には、「マップの作成」と「コミュニティバスの導入」について検討を重ねてきて、社会貢献というところが、最初のときは、社会貢献も含めてご意見があったのですが、マップとコミュニティバスに絞ってから、社会貢献がすごく落ちている。従って、この2年間の審議課題としては、社会貢献のところは、落としてもいいのかなと思います。前回のフォーラムの時にもコーディネーターの大下さんの方から社会貢献とは、どういう取り組みをされたのですかという質問を受けたのですが、実際には、やっていませんというような答えをさせて頂いた。ここに活字として残ると報告書の中で出てこないといけないので、とったほうが良いのかと考えました。

(吉野委員)

私の認識では、いきなりとしてはどうかと思います。「コミュニティバスの導入」を社会貢献とやくすのは、不自然ですか。生きがいというのは、下の課題解決策の「高齢者向けウォーキングマップ作成、地域散策」「コミュニティバスの導入」の主にとちらに結びつくのか。

(星川部会長)

しいて言えば、ウォーキングすることによって、地域散策をすることによって、健康とか地域を知ることによって、生きがいを感じてもらおう。

(吉野委員)

あえて、2つのフレーズにしなくても3つ平均してもいいのではないかと思う。鍵かっこはいらない。

(星川部会長)

生きがい、社会貢献、高齢者に対する環境づくりをですか。

(金子課長)

最初5つ項目出しをした時に活動PRのためのつどいの開催居場所づくりと地域の散策というテーマを生きがい社会貢献とあげて、途中で地域の散策をマップの方に組み込んだような形になっているので。

(吉野委員)

課題が鍵かっこが2つあって、課題解決策が2つあるとそれぞれが対応しているのではないかと思ってしまう。今までのいきさつを考えるとどうなのか。

(金子課長)

最初は、この2つで2個と3個のテーマで始めたものが組み込まれている。

(吉野委員)

「コミュニティバスの導入」も高齢者に対する環境づくりでもあり、ウォーキングマップは、高齢者に対する環境づくりなのか。

(金子課長)

「地域散策」という部分で生きがい、社会貢献という頭出しをしているのだと思う。

(星川部会長)

はっきり分けられないのですが、最初「生きがい、社会貢献」の方は、高齢者にも元気な高齢者がいるのとサポートが必要とする高齢者がいて、元気のよい高齢者は、もっと元気になってもらう為に「生きがい、社会貢献」という形で。サポートが必要な高齢者には、「高齢者に対する環境づくり」として、バスがあると便利ですねという流れだったと思う。

(吉野委員)

社会貢献だとちょっと浮き上がっている感じがしますね。

(赤間委員)

社会貢献というのは、何かにつけてもぼけてきてしまう。

(吉野委員)

生きがい＝社会貢献だと思う。

(赤間委員)

生きがいでだけだと、2年間審議してきたものがぼけるような気がする。

(星川部会長)

社会貢献が課題ですよ、その課題の解決策として2つですが、そこはどういうふうに説明できますか。社会貢献とは、元々企業をリタイアされた方が、地域で活動をするところからでしたが、2年間でやるとすると絞れなかった。

(吉野委員)

鍵かっこを2つに分けなくてもいいのではないかという感じがした。

(富田委員)

この言葉自体が、くどくなりすぎている感じがします。「高齢者にやさしいまちづくり」というテーマにすべて審議課題が含まれているので、審議課題のところは、「生きがい、社会貢献」だけで「高齢者に対する環境づくり」をくどくどあげるのはいかがでしょうかと思います。

(星川部会長)

区民会議で何をするのかといった時には、地域の課題を解決しようということで、課題が無いといけない。課題を解決する為にこの場がある。課題の話をしたところ大きく分けて、この2つになった。具体的にその課題を解決するものとして、この2年間限られた中で選んだのが、「ウォーキングマップ」と「コミュニティバスの導入」だった。

(赤間委員)

P4の囲みの中、審議テーマと審議課題と課題解決策とありますが、課題解決策のところ、ウォーキングマップ作成となっていますが、本文の中では、ウォーキングガイドブックになっているので、言葉を1つにした方が良いでしょう。

(勝野課長補佐)

中間報告の時には、「ウォーキングマップ」だったのですが、その後の表現は、「ウォーキングガイドブック」になっている。

(星川部会長)

マップというと大きな一枚だと思ってしまうので。冊子型だとガイドブック。P4の上の方で、「川崎区は、古くから住宅地が」となっている部分で、「古くから」という表現をやめて、「市内でも最も早くから」とかに表現を変える。

P5の一番上のグラフは、前に文章で何%と入っていたものを新しくグラフ化したものです。

(金子課長)

P4の一番下の文章が「結果によると、」できてしまって、グラフが間に入るのがおかしい。P6の一番下の写真は、大師。真ん中の写真は、川崎駅前写真なので変えないといけないのと、下は、大師公園コースを周っているので、大師の写真でいいと思います。

(星川部会長)

真ん中の写真は、「車道と歩道の段差の写真」ですよね。富田委員が説明されています。

(金子課長)

今の真ん中の写真を上にあげて、大師の写真をもう一枚いれましょう。せっかくこの間行ったのですからその写真も欲しいですね。上と下とを分けて、写真にキャプションをつける。

(星川部会長)

P7の下の方に【周知・PRが必要】のところの「多くの高齢者の手元に渡すため、」ではなく、「渡すようにするため」に訂正。P8③まとめの初めの行で、「ウォーキングガイドブックの視察」ではなくて、「ウォーキングガイドブック記載コースの視察」に変える。P8の下ウォーキングガイドブックの新しい写真が載っている。P9には、(2)「コミュニティバスの導入」についてのページの四角の囲いの中で気になったのが、地域交通の課題という枠組みがあって、その中

の2つめの「川崎区のバス路線は東西の移動手段が乏しい」となっていますが、東西というと右から左のイメージですが、川崎区というのが、右から左というのが我々が検討してきたものと方角を入れることで、分かりにくいのではないかと。川崎区のバス路線は、大師地区・小田地区間の移動手段が乏しいと具体的に書いた方が良い。

(吉野委員)

我々はあまり気にならないのですが、厳密には東西ではなくて、南北なんですよね。

(大田課長)

最初は、南北にしてて、東西なのか南北なのかで、東西に置き換えた。

(吉野委員)

年寄りには南北の方を使っている。

(吉野委員)

P9の最初の部分に「足腰の弱い高齢者も外出しやすい」と出ていますが、「高齢者が安全に安心して外出しやすい」にしたらどうか。

(金子課長)

入れた方が文章がつながりますね。

(星川部会長)

地域交通の課題の中で、先程お話が出た東西の下も、「JR川崎駅を起点としてバス主要路線の縦軸が扇状に開いており、」という部分で縦軸というのあいまいで、川崎区自体、縦横の形があてはまらない。「バス主要路線が、臨海部に向けて扇状に開いており、」に変える。

その後の文章内に「移動するのが困難な状況があるため、横軸をつなぐ必要がある。」とありますが、「移動するのに困難な状況がある」できってよいと思う。

・JR川崎駅を起点としてと・田島地区の住民がという部分は、駅前周辺の話なので、○川崎区のバス路線は、の上に入ると思う。一つ目の○が川崎駅東口周辺で、二つ目の○は、小田地区・大師地区のまとめ方をしていると思う。

(吉野委員)

東西だと上と紛らわしいですが、西口・東口ですが、南北にすれば縦軸・横軸の意味が生きてくるのですよね。

(星川部会長)

東西南北は使わずに大師地区・小田地区間の移動手段が乏しいとする。P9にTMOのことが書いてありますが、正式な名称を確認。かわさきTMOですね。P10以降は、事例ですので。P12は、「コミュニティバス」に関するアンケートの実施についてで、本日アンケート集計結果をお配りしました。報告書に盛り込むのはアンケート結果の抜粋

になります。最初にアンケートの概要があつて、バス移動の利便についての結果をまとめています。二重線の四角の中で、結果についてのコメントがしるされています。P12 の下の方にバス移動が不便だと感じる理由についても掲載している。P13<川崎駅東口を循環するコミュニティバス>のところで、<川崎駅東口周辺を循環するコミュニティバス>とした方が良く思う。P13 のコミュニティバスを利用する場合の目的のグラフの間4と問 10 の前にコミュニティバスを利用するか、しないかという結果のグラフが抜けているのはどうなのか。資料の 3 をご覧ください。問 3 コミュニティバスを利用するかしないかという設問で利用すると答えた方は、51.5%で利用しないと答えた方は、41.2%という回答があります。いろんな見方があつて、利用するが 50%を超えています、大きく超えていわけではないから、記載しない方がよいというご意見もあるのかもしれませんが。

(吉野委員)

良いとか悪いとかいう前に入れた方が良いのではないかな。

(猪熊委員)

P18 の<大師・小田地区周辺を循環するコミュニティバスが導入された場合の主な利用目的>の前に問 9 の利用しますかという設問の結果のグラフを入れてほしい。

(星川部会長)

今猪熊委員がおっしゃった、P18 の上の方の問 9 の設問の利用しますかに対して回答が、利用しますと回答した方が、57.6%で利用しないと答えた方が 38.6%でした。これも今日の提言の【資料3】のP13の利用目的の前に入れてほしい。まずは、利用すると答えた方が多数を占めているということをグラフで示す。P14 の利用頻度を聞いて、まとめに入ってしまうのですが、せっかく調査した中で、アンケートの方の P24 に問 15「コミュニティバスにより高齢者の外出は増えますか」という設問をしている。それに対して増えるという回答が、53.9%という数字がでているので、これも報告書には是非入れて頂きたいと思う。アンケートの結果、外出が増えるよという回答があるので、報告書から落ちているので、入れてほしい。

(吉野委員)

問 15 を入れる。

(星川部会長)

P24 の下の問 16 のコミュニティバスが運行された場合の費用についてこういう風に考えているということで、利用者負担と公的負担でまかなうべきという回答が 62.1%を占める。こういうのも取り込んでおいた方がよいのではないかな。

(猪熊委員)

私は、これは入れた方が良く思います。こういうお金のアンケートって、なかなかとれないので。これは、報告として記載した方が良く。もし、実施に移した場合にこのアンケートの 100 円というのが一番、骨子になるのではないかなと思う。

(星川部会長)

アンケート結果の P26 に回答者の属性については今まで、まったく触れていないのですが、アンケート回答者 907 人の内、70 歳以上の方が 629 人いるので、高齢者の声がすごく反映されている結果だということを示した方が 良い。どんな方が回答をしているのかという属性も必要かなと思う。

最後の P28 に回答者の 907 名の方が、どの地域に住んでいるのかというデータも必要な気がしている。町内会まで示す必要はないと思いますが、川崎区役所管内・大師支所・田島支所のバランスで回答を得ている。今回、大師地区と田島地区を結ぶバスの事を検討しているので、どこに住んでいるかも相当影響がある。ページ数が増えて事務局が困るかなと思いますが。

(吉野委員)

せっかくこれだけ調べたのだから、削るのはもったいないと思う。

(金子課長)

他の部会が悲しいものになってしまう。あまり違いすぎちゃうと申し訳ないかなと思います。

(吉野委員)

非常に貴重なデータだと思いますから。

(金子課長)

貴重なものは、貴重なのですが、報告書の根拠となるもの。だから続けないといけないんだよというポイントを絞って出していった方がインパクトは強いのかなと思う。

(吉野委員)

外すのを探るのが大変だと思う。

(猪熊委員)

これは、貴重なんですよ。我々 DMO では、ここまで出来ない。人数も 907 人も集まっていて、本当に貴重な資料だと思います。永久保存みたいな形で載せられるなら全部載せたい。

(星川部会長)

削れるとしたら、【資料 3】P13 の左側の住んでいる人の管内別に出している利用目的の問 4 と問 10 の左側の上下のグラフを取ってしまう。

(金子課長)

中味が変わらなければ、取ってしまっても良い。

(吉野委員)

ここまで、管内別にやる必要は無いですね。

(星川部会長)

一通り、【資料3】については、お目通しを頂きました。P14のまとめのところを今一度読まさせていただきます。ややトーンダウンしているような気がします。◇既存のバスで対応できるのかという言葉が入ったのと、◇コミュニティバスを含めた高齢者が外出しやすい環境の整備についてという部分の表現についてどうですか。コミュニティバスが前面に出ていなくて、検討の一つですよとっているように見える。

(猪熊委員)

「既存のバスで対応できるのか」という部分を取ったらどうですか。コミュニティバスの中での議論なので、既存のバスの調査・分析も必要かどうかと既存のバスで対応できるのかどうか。

(星川部会長)

あまり部会でそういったところは、議論していなかった。区民会議の報告書の中にあえて入れる必要があるかどうか。

(猪熊委員)

必要が無い気がする。

(吉野委員)

既存バスに遠慮している気がする。

(星川部会長)

P14③まとめの部分で、2つ目の「◇今後、更なる高齢化の進行が予測されていることから、コミュニティバスを含めた高齢者が外出しやすい環境の整備について、継続的に検討する必要がある。」というところを「高齢者が外出しやすい環境の整備を図る為、コミュニティバスの導入について、継続的に検討する必要がある。」

整理しますと、まとめの一つ目の◇の2行目、具体的な理由を更に細かく調査・分析し、既存のバスで対応できるのかをとって、コミュニティバスの導入が必要かを検討する必要がある。2つ目の◇今後、更なる高齢化の進行が予測されていることから、コミュニティバスを含めたをとって、高齢者が外出しやすい環境の整備を図るため、コミュニティバスの導入について、継続的に検討する必要がある。なにかお気づきの点がございませうか。

P1の提言の「1 高齢者が安全安心に外出できる」を「高齢者が安全に安心して外出できる」にするかどうか。P4の社会貢献をとる・とらない。2つある審議課題を1つにするについては、いかがですか。

(猪熊委員)

富田委員がおっしゃった、高齢者に対する環境づくり一本にする。

(富田委員)

「高齢者にやさしいまちづくり」とか、審議課題の方でも「高齢者に対する環境づくり」とくどくなりすぎるのではないかな。あまり高齢者という言葉と並べなくてもいいのではないかな。審議課題は「生きがい、社会貢献」でいいのではないかな。

(星川部会長)

確かに「高齢者にやさしいまちづくり」とか、「高齢者に対する環境づくり」似たような内容が並んでいますが、課題があって、解決策があるので、課題と解決策というのは、ある程度リンクしていて、両方必要なのです。それを全部ひっくるめて、審議テーマというのを載せている。

(金子課長)

審議テーマって、最初に話した時にどういう視点で高齢者部会を進めていくかという大きなくくりだった。「高齢者にやさしいまちづくり」という大きなテーマの中で、具体的にどういう課題に取り組みしましょうかといった時に、「生きがい、社会貢献」という元気なお年寄りと弱者である高齢者に対するまちづくりというより、環境だよねという話でこういう形になったと記憶しております。その2つの課題があって、それに対して、どういう解決策があるのかな。このところは、最初からこういうふうに来てきていますし、中間報告でもそういう段階を踏んでいますので、今更変えられない部分です。

(猪熊委員)

一番最初に第1回目にもものすごい数の意見が出て、小さい意見が沢山出てきて、その中でひっくるめたものが、「高齢者にやさしいまちづくり」でしたよね。

(金子課長)

テーマというのは、くるんだようなイメージで宜しいかと思います。先程、部会長がおっしゃったように課題は、なんだろうということで、2つ掲げた。その中の解決策を幾つか掲げた。その中で解決策は、統合して一緒に審議していきましょうということで、最終的に2つ残っている。

(猪熊委員)

変えられないのであれば、このままいくしかないね。

(金子課長)

「生きがい、社会貢献」という部分は、いつのまにか統合されてしまって、課題解決策としては、残っていない。なので、そこはあえて取ってしまってもいいのではないかという提案だった。最終的には、「高齢者に対する環境づくり」の中にマップもバスも含まれているよねと。

(星川部会長)

簡単にいうと課題が社会貢献なのか。解決策はどれといった時に無いわけです。無いものは、掲げておかない方がいいのではないかと。

(金子課長)

あえていうと地域散策に含まれる。具体的にどうなのといった時に明確には答えにくい。

散策の方の先導するような位置づけだと思う。自分達で散策するのは決して、社会貢献ではないと思う。ある意味歩いていくのに生きがいを感じる方もいるかもしれませんし、地域散策のリーダーになることで、社会貢献をおこなう。広い意味では言い切れないわけではない。あえて、残すのかこっちに吸収したので、消すのか。

(星川部会長)

それでは、元のままにしましょう。地域散策の中で社会貢献を吸収する。「安全安心」は、このままでいいですか。高齢者がというと高齢者が主役なのです。高齢者もだと主役が別にいる感じがする。

(星川部会長)

表題の方も「安全に安心して」にしましょう。他にもお気づきの点もあると思います。まだ、完成形ではないので、持ち帰ってじっくり読んだらここがちょっとというのがありましたら、事務局の方にご意見をお寄せ下さい。一応報告書の(案)についてご検討いただきました。議題としては、2その他ですが。

(金子課長)

全体会議の日程が決まりましたので、お知らせします。3月19日月曜日18:30からお願いしたいと思います。お休みの狭間で恐縮ですが、なかなか日程がとれません。次の日、春分の日でお休みですが。

(星川部会長)

最後の全体会議が3月19日ということです。宜しくお願いします。今日予定していた議題は、全て終了しましたので、金子課長からご挨拶をお願いします。

(金子課長)

副区長がいなくて、申し訳ございませんが、最後に区民会議だより1月29日の交流会の席でチラシを配布しました。これまでの各部会の主だったものをまとめたものです。今年度区民会議便りがなかなか発行できなくて、申し訳ございませんでした。

今日が最後の部会になります。本当に皆さんありがとうございました。高齢者部会は、他の部会より一つ多い7回までやりまして、他の部会は、今年度6回で終了ということになっています。

以上